

寺澤秀一先生  
@若手医師セミナー  
お話しのポイント

2015.8.21

by 山下慶三

# 医学生さん、 研修医の先生方へのアドバイス

- **真の学びには、セミナーも教科書も要りません** • 6:20～
  - (病院・指導医)に頼らずとも学べます
    - 何かを学ぶ覚悟があれば、
    - それを本気で教えてくれる人を見つけ、
    - その人に付いて、その人から学べばよい
- **小さな施設でこそ身につくことがあります** • 11:55～
  - 患者さんと向き合う訓練は、小さな施設での研修でこそ積むことができます。大きな施設での研修は、患者さんをこなす訓練となりがちです
- **総合病院でない施設は得がたい学びの場です** • 15:15～
  - 受診を断らず、来院した患者の話しを聞き、丁寧に診察して、深く考える力量を磨く
  - 高齢者と話す工夫を身につける
  - 的確な転送は、患者さんから、近隣医療機関の医師からも、感謝され、評価されます

# 医学生さん、 研修医の先生方へのアドバイス

- **なりたい医師を本気で目指すなら、専門医資格も取り急がないでください** • 31:15～
  - 専門医カリキュラムは、その領域の患者さんにとって善い専門医が歩むべき道であるとは限りません
- **なりたい医師を本気で目指すなら、ぜひ回り道してください** • 34:50～
  - 他の医師と競争しないで！
    - 他の医師と比べて自分を追い込むとつまづきます
    - 医師は他の医師とレースをする職業ではないのです
  - がんばりすぎないで！
    - 自分が一生走り続けられるスピードで走れば良い
  - 諦めないで！
    - 自分の目標とする医師になることは諦めずに、研鑽を続けること
  - 調子に乗らないで！
    - 調子がよいことと、調子に乗ってつまづくこととは紙一重

# 自分のために生きる医師 (トラブル・つまづき)が多いです

- 患者のために生きる医師
- 助演男,女優賞狙い
- 教えたがり屋
- 出世に関心が無い
- 他人の心に敏感
- 教育に見返りを期待しない
- 仲間が増える



- **自分のために生きる医師**
- 主演男,女優賞狙い
- 教えたがらない
- 出世志向
- 他人の心に鈍感
- 教育に見返りを期待する
- 仲間が増えない

医師は最高の脇役をめざせばいい

# 患者を愛している家族もまた もう一人の患者である

- 我々に問われていることは、患者とその家族に寄り添う診療ができているかどうかです
  - 最近になってやっと、自然に家族の心情も配慮しながら診療できるようになりました。それは自分の父や母を見送ってみて初めて習得できた気がします
- 患者や家族の人生に寄り添う診療に取り組んでいれば、医師は患者や家族によってより良い医師に育ててもらえ、医事紛争などとは無縁な医師人生が送れます

# 振り返り対話の奨め

- 心豊かな指導医が、
  - 研修医の先生が関わった「つまづき事例」（患者の予後が悪くなった事例等）を、
  - ゆっくりと、優しく、ユーモアを交えて振り返る
    - 個々の研修医の先生の失敗を、研修医全員で我が事として共有し、疑似体験すること
- 対話の目的は：
  - 関わった先生達を、つるし上げたり、非難することではなく、
  - 若い先生達のあいだで、教訓を分かち合わせることで
    - 一人でたくさん失敗して学ぶ代わりに、
    - 他人の失敗を我が事として学ぶように導くのです